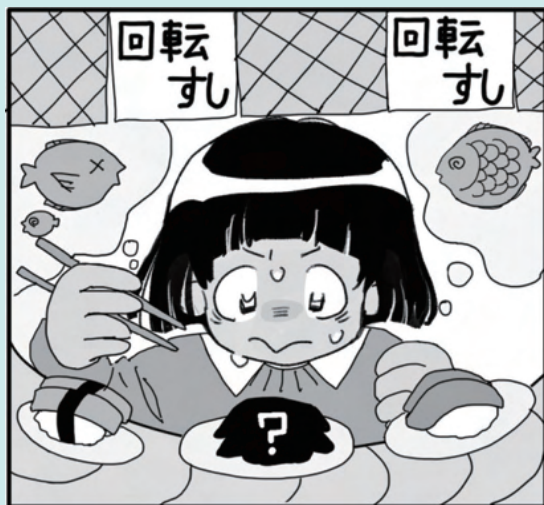


え～！ ゲノム編集トマトはどれ？ ゲノム編集マダイはどっち？



今、最先端の科学技術により、遺伝子を操作して作り出された「ゲノム編集」のトマトやマダイ、フグ、ヒラメなどの流通が始まっています。

にもかかわらず、安全性の確認はされておらず、表示はありません。

近い将来、流通が始まる「培養肉」などの『合成生物学』食品も安全基準や表示のルールすら決まっていません。

食の安全をどう守るのかをいっしょに考えましょう。

日時：2025年3月9日(日)
13:30～16:30

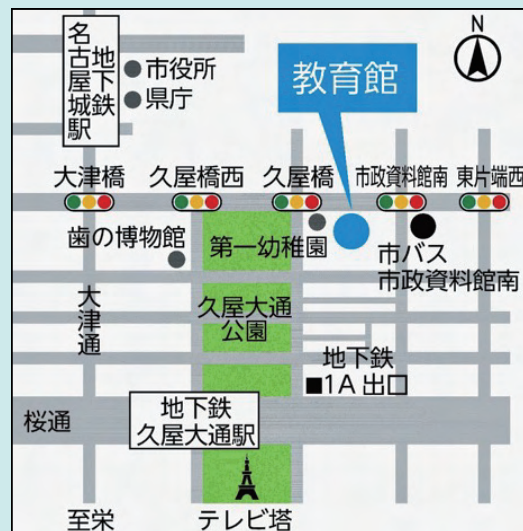
場所：名古屋市教育館 3階 第1～第3研修室
名古屋市東区泉一丁目1番4号
地下鉄：桜通線『久屋大通』1A番出口 北約10分
名城線『名古屋城』3番出口 南東約10分

資料代：1,000円

《プログラム》

- ・13:20:開 場
- ・13:30:開 会
基調講演：「日本の食品表示の現状と食の安全」
講 師：原 英二さん(日本消費者連盟・共同代表)
- ・14:30:休 憩
- ・14:40:パネルディスカッション
「消費者が食品表示にもとめること」
パネラー：原 英二さん
渡会一仁さん(株式会社 渥美フーズ代表取締役)
河田昌東 (遺伝子操作食品を考える中部の会代表)
- ・15:50:質疑応答
- ・16:20:遺伝子組換えナタネ抜き取り隊について
石川豊久 (遺伝子操作食品を考える中部の会)
- ・16:30:閉 会

後援：名古屋市教育委員会



主催 遺伝子操作食品を考える中部の会
事務局：食と環境の未来ネット
〒461-0004
名古屋市東区葵1-14-3
TEL：052-937-4817
E-mail：sk_mirainet@yahoo.co.jp